



中高FW報告「広島FW・対馬FW」

フィールドワーク研修に応募し、見事書類とプレゼン審査を通った中学1グループと高校2グループのFWを紹介します。

【 広 島 フィールドワーク 】

私たちは平和教育について研究しており、その一環として、10月16日～17日の2日間で広島へ行き、我が校のWWL連携校である広島女学院、広島平和教育研究所、そして原爆ドームを含むさまざまな平和施設へ赴きました。

〈広島女学院〉

広島に着いてまず私たちは広島女学院高校を訪れました。女学院には署名活動を独自で行っている委員会があります。この委員会では署名活動にとどまらず、修学旅行生に向けたワークブックを大学と協力して作成したり、被爆当時の白黒写真に色をつける作業をしたりするなど、精力的に活動しておられます。今回は、委員長、副委員長、書記の3名の方にお話を伺いました。

広島女学院では、中高一貫の強みを活かし6年間にわたって生徒に平和教育を行っておられます。平和教育といっても、私たちの平和学習のような「原爆」についてのお話を聴くだけでなく、模擬国連をして現在の世界情勢を学んだり、核は存在すべきか否かを小論文として書いたりするなどの活動も行っているそうです。

〈広島平和教育研究所〉

次に、私たちは広島平和教育研究所を訪れました。事前に頂いていた、研究所作成の「今日から始める平和教育」という資料を基に「平和教育とは何か。」「平和教育の教科書とはどうあるべきか。」「これから平和教育はどのように発展させていく必要があるか。」など、興味深いお話をたくさんして頂きました。また、私たちの研究テーマである「平和の教科書」についても、ご助言やご指摘を多く受けることができ、とても有意義な時間にする事ができました。

〈広島史跡めぐり〉

2日目は、原爆ドームをはじめとする広島の平和施設をめぐりました。広島平和記念資料館では、ご遺物やお写真とともに故人のお名前、物語が掲示されており、故人一人ひとりに思いをはせることができました。長崎の原爆資料館にはない新たな視点で「原爆」を見ることができます。ほかにも韓国人原爆犠牲者慰霊碑など多くの慰霊碑を見学でき、長崎との違いを感じることができました。

高校2年1組平田彩乃、2組二階堂 杏



(広島女学院での意見交換の様子)



(原爆ドーム前にて)

→裏面に続きます。

【 対馬 フィールドワーク 】

中学3年東嶋華子は観光分野について、高校2年小田原真凜、平山瑞季は海ごみの実態とその解決法について研究をしています。私たちは、10月26・27日の二日間、海ごみの解決に向けてについて様々な取り組みを行っている対馬市を訪れ、お話を伺ったり、海岸で調査を行ったりしました。

一日目は、まず海ごみについての調査や、子供たちに海ごみの現状を伝える活動をしている対馬CAPPを訪問し、お話を伺いました。その後、対馬CAPPの末永様に帯同していただき、小茂田浜で漂着ごみの調査を行いました。次に、対馬高校を訪問し、韓国の大学生と清掃活動を行った生徒の皆さんと意見交換を行いました。

二日目は、まず対馬市役所を訪問しました。環境政策課の方に対馬の海岸について数値を用いて具体的に教えていただきました。また、観光商工課の方より対馬市の観光の取り組みについて教えていただきました。そして、越高海岸、井口浜海浜公園、美宇田海水浴場、茂木浜海水浴場に行き、調査を行いました。

海外からのごみが最も流れ着くと言われている対馬ですが、漂着ごみが大量に海岸に打ち上げられているのを見て、愕然としました。それらはほとんどが韓国や中国のもので日本のものはあまり見られませんでした。しかし、ここで誤解しないでいただきたいのは、日本があまりごみを出していないというわけではないということです。日本のごみはハワイなどの海岸で数多く見つかっています。日本も韓国や中国と同じように、ごみを海外へ放出しているということです。またそのごみのほとんどが家庭から出たごみなのです。漂着ごみは、ペットボトルやプラスチックの破片が多かったですが、中には歯ブラシや、長靴などの日用品も見られました。家庭ごみ以外では、台風の影響で流木、また漁業で使われる漁網やロープが多かったです。

今後の活動としては長崎市でも海岸の調査、市役所の訪問、海ごみに対する意識を調べるアンケートを実施しようと考えています。最終的には対馬市と比較し、長崎市の海ごみに対する取り組みとして不足しているところは何かについて研究を進めていきたいと思えます。

中学3年3組東嶋 華子、高校2年3組平山 瑞季、5組小田原 真凜



(対馬高校での意見交換の様子)



(ごみの漂着した海岸)



(ICC調査の様子)

【 探究活動の予定 (11~12月) 】

- | | |
|------------|-----------------------------|
| 11月10日 (火) | 高大連携講演会 (高2) |
| 12日 (木) | 探究FW (高2) (五島FWは11日 (水) から) |
| 20日 (金) | 論文 (レポート) 講座 (高1・2) |
| 12月17日 (木) | 中間発表会 (高2国際科) |
| 18日 (金) | 探究中間発表 (高1) |
| | 課題研究中間発表 (高2普通科) |